

Step by step

～雨だれ石をも穿つ～

学力向上推進通信

第4号

R7.7.8

発行者:学推担当 仲村智

「間違えた問題は宝」

～1 学期期末テストを終えて～



今年度初めての定期テストが先日行われました。1年生にとっては初めての席次でその結果に悲喜こもごもだったことでしょう。学校での単元テスト等でテストには慣れていても、業者テストということで思ったより問題が解けなくて落ち込んでいる生徒もいたのかも知れません。でも、極端なはなし席次が良かった、前回よりあがっただの、まったくダメだったの、そんなのたいしたことではないのです。

『結果の分析』こそがテストをやる意義なのです。だからこそ、間違えた問題はこうえない自分だけの宝物なのです！！その問題を克服できるようになれば点数が上がることを教えてくれているのです。正解した問題を繰り返しやることも定着の意味では大切ですが、間違えた問題をもう一度復習することで、たった5分や10分の時間でも今より点数は上がる可能性があります。

では、間違えた問題をどのように勉強していけばいいのでしょうか。ただ「覚える」だけでよい問題もありますが自分にとって難しい問題をいかに「できる」ようにするのが大切です。そのために必要なことは何か？それは『解き方』を理解することです。なぜそうするのか、なぜこれではいけなかったのかが理解できれば、次から同じ間違いをしなくなるからです。徹底的に粘り強く考えてみましょう。それでも考えてわからなかったら、友達や先生に聞くことです。正しい答えを赤ペンで写すだけでわかった気になっていませんか？「勉強しているのに結果が出ない」をふてくされているあなた、あなたは勉強した気になっているだけなのです。

発明王エジソンは失敗王でもあります。エジソンが生涯のうち、最も手間と費用をかけたのは自動車用のアルカリ蓄電池で、エジソンはこれを完成させるまでなんと5万回もの失敗を繰り返したそうです。しかしエジソンはこんな名言を残しています。

「失敗したわけではない。それを誤りだと言ってはいけない。

勉強したのだといたまえ」

エジソンにとって失敗というものはなくうまくいかなかったことは全て勉強なのです



トーマス・エジソン



間違えたことによってわかることもあります。だからこそ、授業でも家庭学習でもテストでも、間違えた時が「わかるようになるチャンス」だと思って、そこから正解への追及をするかどうかが大切なのです。そこで、7月19日から始まる夏休み・・・これまでの学習を振り返って各教科(9教科)の1学期学んだ学習内容を、自分の弱点克服のための自主学習に取り組んではみませんか？

きっと夏休みあけには「できる」あなたになっているはず☆

夏休みを有効に活用しよう！

大谷選手の「目標達成表」から学ぶ

大リーガー大谷翔平選手の「目標達成表」を知っていますか。花巻東高校在学中に、監督から学んで書いた表(別紙記載)で、当時の彼の「目標」が「見える化」されています。「見える化」することで、目標を達成するために「何を」「どのように」取り組めばよいのか、自分で客観的に考えることができます。「見える化」で目標が明確になり、その達成に向けて一歩を踏み出すことができます。そこで、自分の「目標達成表」を作成してみませんか。夏休み中に自己目標を見つめ、達成に向けて一歩を歩み出すことであなたの成長につながるのです。

